



アップルニュース 第24号

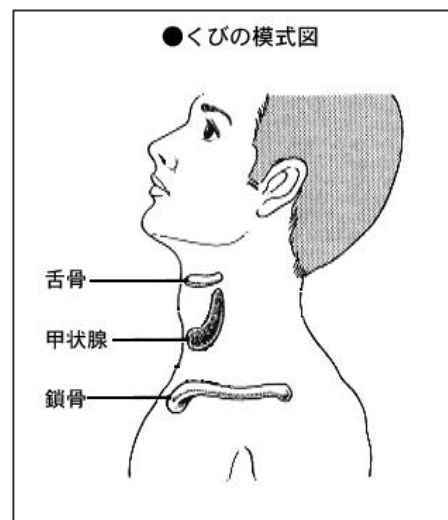
2002.8 ~京王八王子クリニック~ <http://www.k8clinic.com> 0426-45-7878

甲状腺の病気

甲状腺は前頸部の中央、のどぼとけの下にあり、通常は外から見えず触れることもできません。甲状腺ホルモンを産生し、それによって体の代謝を調節する重要な臓器です。

甲状腺疾患は頻度の高い疾患で、成人女性の10人に1人は甲状腺腫（甲状腺が大きい）があり、さらにその中の10人に1人が甲状腺ホルモンの異常があるとされています。甲状腺ホルモンの異常は大きく分けて『**甲状腺機能亢進症**』と『**甲状腺機能低下症**』があります。いずれも良性の病気で、薬等でコントロール可能ですが、放置しておくといろいろな合併症が出てきます。

今回はその中の『**甲状腺機能亢進症**』についてお話しします。



甲状腺機能亢進症

普段と違って甲状腺を過度に刺激する物質が血液の中に生じて甲状腺ホルモンが必要以上に作られている病気で、バセドウ病とも呼ばれます。甲状腺ホルモンが多すぎると、心臓・肝臓・骨・目などに影響がでます。女性に多い病気です。

《**原因は**》甲状腺を刺激する物質がどうやって生じるのか、目の異常を起こす原因が何かいずれもまだ不明です。ある程度遺伝が関係しています。

《**症状は**》甲状腺がはれます。甲状腺はのどぼとけの少し下にあり、腫れると首が太く見えます。**動悸、息切れ、手足のふるえ、暑さに弱い、食べるわりに太らない、むくむ**、などがみられます。これらは甲状腺ホルモンの過剰による症状です。目が突出したり、まぶたが腫れたりする人もあります。

《**検査は**》血液中の甲状腺ホルモン(FT4)、甲状腺刺激ホルモン(TSH)、甲状腺刺激物質(TRab)などを測ります。

《**治療は**》甲状腺ホルモンの合成を抑える薬を飲みます。

薬の副作用が出たり、効きが悪かったりした場合、放射性ヨード治療や手術をします。

《**経過は**》薬を始めるとやがて元のようにになりますが、やめるとまた悪くなることが多いので、続ける事が大切です。1~2年間位薬を飲んで薬をやめられる人が約半数、残りの半数の人はずっと薬を飲み続ける必要があります。またいったん、薬を止めた人の中のまた半数は再発するので、完全に薬を止められるのは4人に一人位です。

《**注意点**》最も重要なのは、規則正しい通院・検査で適切な薬の量を決め、血液中の甲状腺ホルモンを正常に保つことです。

《**妊娠は**》治療しながら安全に妊娠・出産できます。逆に十分な治療をせず、甲状腺ホルモンが過剰な場合は流産や早産の危険が高くなります。

市民健診のお知らせ

実施期間 7月1日～11月30日（日曜日午前も可）

予約不要

対象 40才以上の八王子市民（昭和38年4月1日以前に生まれた人）

費用 無料

内容 診察・心電図検査・血液検査・尿検査・胸部レントゲン

持ち物 保険証をお持ちください

検診の内容は、心臓、肝臓、糖尿病、肝臓病、肺癌等、主に成人病の早期発見を意識した内容になっています。過去に肝機能を指摘された方、広範な外科的処置（大きな手術等）を受けたことのある方、妊娠・分娩時に多量に出血したことのある方、輸血を受けたことのある方等は、今年からB型・C型肝炎ウィルス検査も同時に行なえるようになりました。

昨年度の検診でも、高血圧、糖尿病、高脂血症、貧血、肺癌等の疾患が多く見つかりました。成人病は早期発見、早期治療が何より大切です。自分は健康だと思っている方、昨年特に異常がなかった方も年に1度は健康チェックが必要です。この機会にぜひ市民検診を受けましょう。なお、当日食事抜きで受診されますとより正しい判定ができます。

その他の検診 **大腸癌検診** 10月～11月（40才以上の八王子市民で事前に市へ申し込みが必要です）

乳癌検診 9月～11月（30才以上の八王子市民で女性）

ポリオ予防接種のお知らせ

今年度よりポリオの予防接種が10月になりました。当院では10月の毎週水曜日にポリオ接種を予定しております。ご予約は受付カウンター、又は電話で承っておりますのでお早めにお申込み下さい。尚、1才以上のお子様で麻疹ワクチン接種されていない方は、麻疹が流行しておりますので麻疹接種を優先して接種して頂きますようお願いいたします。